

6/13 木 連

他人の年金記録閲覧

総務省とデジタル庁は12日、マイナンバーカードの個人向けサイト「マイナポータル」で他人の年金記録が閲覧されたトラブルが1件あったと明らかにしました。道府県の職員らが加入する「地方職員共済組合」で確認され、人為的ミスで別人のマイナンバーと元組合員の年金情報が誤ってひも付けられたのが原因といいます。年金支給額への影響はないと説明しています。

個人向けサイト「マイナポータル」

グインし、自身の年金記録などを見ることができます。総務省によると、7日にデジタル庁から連絡を受け、トラブルを認識しました。記録は既に見られないよう措置されたといいます。

地方職員共済組合には約33万人が加入します。同省は今後、関係者らへの聞き取りを通じて、誤ったひも付けが起きた詳しい状況などを調べるほか、同様のケースがないか点検を指示するとしています。

公金受取口座を休止 神奈川・平塚

マイナンバーとひも付けて国や自治体からの給付金の振込先とする「公金受取口座」で、本人以外の口座が登録されるケースが相次いだことを受け、神奈川県平塚市は12日までに、一部の課で公金受取口座の利用を休止しました。

休止するのは、物価高騰対策として住民税非課税世帯などに給付金を支給する業務を行う福祉総務課。同課によると、昨年11月の給付金業務で初めて公金受取口座を活用。支給した約2万7000世帯の

うち1%程度が同口座を利用しましたが、トラブルはなかったといいます。

次回の支給は今年7月から始まりますが、誤登録や家族名義とみられる口座の登録など、公金受取口座のトラブルが続発していることを受け、市は今月8日、同口座を使わないことを決めました。福祉総務課の担当者は「住民側は不安に思うだろうと考え、いったん取りやめることにした」と話しました。